

T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ8 (マネープールファンド8)

第1期運用報告書（全体版） (決算日 2022年12月12日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8（マネープールファンド8）」は、2022年12月12日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	2021年12月10日から2023年12月11日まで	
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
	マザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率			
設 定 日 2021年12月10日	円 10,000	円 —		% —	% —	% —	百万円 1
1 期 (2022年12月12日)	9,993	0		△0.1	—	—	514

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
設 定 日 2021年12月10日	円 10,000	% —		% —	% —
12月末	10,000	0.0		—	—
2022年1月末	9,999	△0.0		—	—
2月末	9,999	△0.0		—	—
3月末	9,998	△0.0		—	—
4月末	9,998	△0.0		—	—
5月末	9,997	△0.0		—	—
6月末	9,997	△0.0		—	—
7月末	9,996	△0.0		—	—
8月末	9,995	△0.1		—	—
9月末	9,994	△0.1		—	—
10月末	9,994	△0.1		—	—
11月末	9,993	△0.1		—	—
期 末 2022年12月12日	9,993	△0.1		—	—

(注) 基準価額は1口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

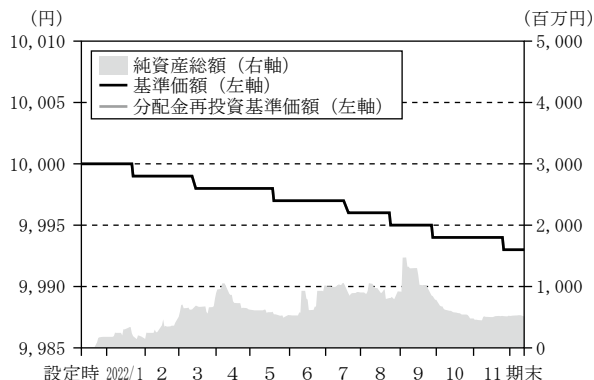
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設 定 日：10,000円

第1期末：9,993円（既払分配金0円）

騰 落 率：△0.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2021年12月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

主に「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローンへ投資した結果、マザーファンドの基準価額変動と、当ファンドの設定・解約および信託報酬の影響から、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
マネーアカウントマザーファンド	△0.1%

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.12%から期末は△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローンに投資を行いました。期を通じて、同マザーファンドを概ね70%程度組入れ、残りはコールローン等で運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

■ 分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、分配対象収益がないため、見送らせていただきました。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「マネーアカウントマザーファンド」の組入比率を高位に保ち、コールローンでの運用も継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1口当たりの費用明細 (2021年12月10日から2022年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2021/12/10～2022/12/12		
	金額	比率	
平均基準価額	9,996円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	0円 (0) (0) (0)	0.001% (0.000) (0.001) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	1	0.012	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

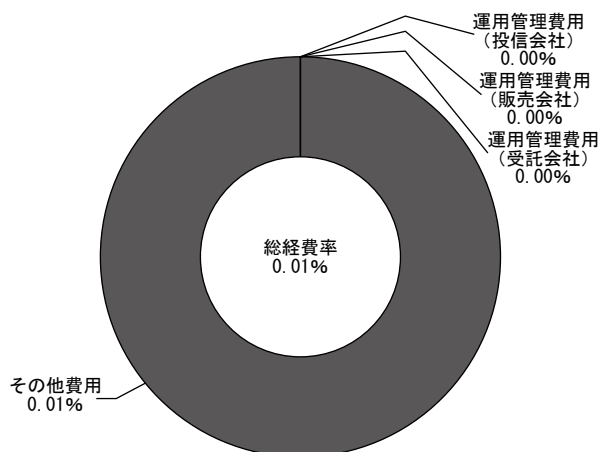
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1万口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、0.01%です。



(注) 費用は、1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買および取引の状況（2021年12月10日から2022年12月12日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 2,172,578	千円 2,171,600	千口 1,800,935	千円 1,800,000

（注）単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等（2021年12月10日から2022年12月12日まで）

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況（2021年12月10日から2022年12月12日まで）

設定時残高（元本）	当期設定元本	当期解約元本	期末残高（元本）	取 引 の 理 由
千円 1,000	千円 —	千円 —	千円 1,000	当初設定時における取得等

（注）単位未満は切捨て。

組入資産の明細（2022年12月12日現在）

親投資信託残高

種 類	当 期	末
	口 数	評 価 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 371,643	千円 371,345

（注）マネーアカウントマザーファンド合計の受益権口数は401,188千口です。

（注）単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成（2022年12月12日現在）

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
マネーアカウントマザーファンド	千円 371,345	% 69.6
コール・ローン等、その他	162,218	30.4
投資信託財産総額	533,563	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	533,563,421円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	162,217,443
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	371,345,978
(B) 負 債	19,515,984
未 払 解 約 金	19,466,364
未 払 信 託 報 酬	4,435
未 払 利 息	318
そ の 他 未 払 費 用	44,867
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	514,047,437
元 本	514,400,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 352,563
(D) 受 益 権 総 口 数	51,440口
1 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9,993円

- (注) 設定時元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 4,789,110,000円
 期中一部解約元本額 4,275,710,000円
 (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は352,563円です。
 (注) 1口当たり純資産額は9,993円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)および費用控除後の有価証券売買等損益(0円)より、分配対象収益は0円(1口当たり0円)となりましたので、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 28,652円
受 取 利 息	64
支 払 利 息	△ 28,716
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,260
売 買 益	96,176
売 買 損	△ 94,916
(C) 信 託 報 酬 等	△ 77,227
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 104,619
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 247,944
(配 当 等 相 当 額)	(△ 64,242)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 183,702)
(F) 合 計(D+E)	△ 352,563
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 352,563
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 247,944
(配 当 等 相 当 額)	(△ 64,242)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 183,702)
繰 越 損 益 金	△ 104,619

- (注) 損益の状況の中で
 (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

(単位：円・％、1口当たり・税引前)

項目	当期
	2021年12月10日 ～2022年12月12日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第26期（決算日 2022年12月12日）
（計算期間 2022年6月11日から2022年12月12日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2022年12月12日に第26期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落 中 率			
	円	%	%	%	百万円
22期（2020年12月10日）	10,004	△0.0	—	—	716
23期（2021年6月10日）	10,001	△0.0	—	—	390
24期（2021年12月10日）	9,998	△0.0	—	—	658
25期（2022年6月10日）	9,995	△0.0	—	—	666
26期（2022年12月12日）	9,992	△0.0	—	—	400

（注）基準価額は1万円当たり。

（注）先物比率＝買建比率－売建比率

（注）当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

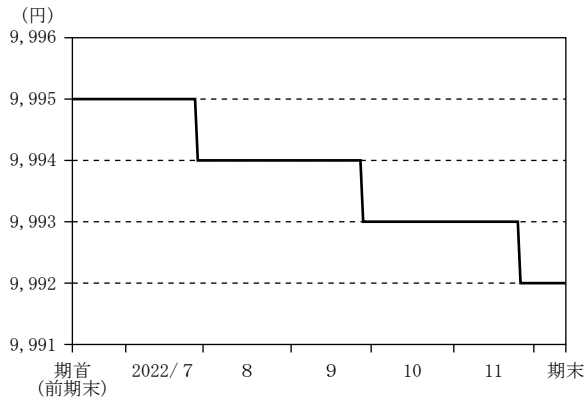
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首（前期末） 2022年 6 月10日	円 9,995	% —	% —
6 月末	9,995	0.0	—
7 月末	9,994	△0.0	—
8 月末	9,994	△0.0	—
9 月末	9,993	△0.0	—
10月末	9,993	△0.0	—
11月末	9,992	△0.0	—
期 末 2022年12月12日	9,992	△0.0	—

(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。
(注) 先物比率＝買建比率－売建比率
(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の9,995円から期末は9,992円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことにより下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.10%から期末は△0.18%となりました。期中においては、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、国内外における新型コロナウイルスの流行の影響を受けながらも、緩やかな持ち直しの動きがみられます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2022年 6 月 11 日から2022年12月12日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2022/ 6 /11～2022/12/12	
	金額	比率
平均基準価額	9,993円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2022年 6 月 11 日から2022年12月12日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2022年 6 月 11 日から2022年12月12日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2022年12月12日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2022年12月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	400,875	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	400,875	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	400,875,579円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	400,875,579
(B) 負 債	787
未 払 利 息	787
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	400,874,792
元 本	401,188,684
次 期 繰 越 損 益 金	△ 313,892
(D) 受 益 権 総 口 数	401,188,684口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	9,992円

- (注) 期首元本額 667,095,794円
 期中追加設定元本額 955,019,604円
 期中一部解約元本額 1,220,926,714円

- (注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は313,892円です。

- (注) 1 口当たり純資産額は0.9992円です。

- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳
- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| デジタルヘルス株式ファンド | 14,906,068円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (インド・ダブルブル8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (インド・ダブルベア8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (中国・ダブルブル8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (中国・ダブルベア8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (ナスダック100・ダブルブル8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (ナスダック100・ダブルベア8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (金・ダブルブル8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (金・ダブルベア8) | 20,005円 |
| T&Dダブルブル・ベア・シリーズ8 (マネーボールファンド8) | 371,643,293円 |
| J プレミアム・インカムファンド (年1回決算型) | 9,766,261円 |
| J プレミアム・インカムファンド (年4回決算型) | 4,713,022円 |

損益の状況

当期 自2022年6月11日 至2022年12月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△169,353円
受 取 利 息	738
支 払 利 息	△170,091
(B) 信 託 報 酬 等	△ 39
(C) 当 期 損 益 金 (A＋B)	△169,392
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△322,486
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△549,604
(F) 解 約 差 損 益 金	727,590
(G) 合 計 (C＋D＋E＋F)	△313,892
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△313,892

- (注) 損益の状況の中で

- (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

- (F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。